# 政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

| | |
|---|---|
| 施策の柱 | ３－５　市民の力をまちづくりの力へ |
| 施策 | ３－５－１　市民参加・協働の推進 |

| | |
|---|---|
| 指標NO | 98 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 指標名 | 市の提供する情報は分かりやすく、充実している | 単位 | % |

| | |
|---|---|
| 担当局（区） | 市民局 |

| 区　分 | H23末<br>現状値 | H27中間評価<br>（H26末値） | H30中間評価<br>（H29末値） | H34最終評価<br>（H33末値） | 達成状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 目標値 | ― | 32.0 | 36.0 | 40.0 | × |
| 現状値 | 28.2 | 28.0 | － | － | |

| | |
|---|---|
| 目標設定の考え方 | 様々な手法により、あらゆる世代に対し、分かりやすく充実した市政情報の提供を図ることとして、目標値を設定した。 |

【達成状況の分析】

市政だよりは新聞購読世帯が減少している中で、配布率の維持に努めた。
市長との対話会はほぼ予定どおりの回数を開催しているが、参加者数は目標に届いていない。要因として、以前は大型ショッピングセンター等の大会場で開催することもあったが、最近は市民により身近に感じていただくために、公民館などの会場で開催していることが考えられる。
また、ツイッター版市長との対話会の参加者数においても、参加者募集の広報に努めたが目標達成には至らなかった。市政出前講座に関しても、事業を開始して約１０年が経過し、年々開催件数・受講者数が伸び悩んでいる。

【課題及び今後の取組みの方向性】

市政だよりについては、新聞購読世帯の減少傾向を踏まえ、市内全世帯への個別配布をするなどの見直しを進める。
市長との対話会、市長の出前講座及び市政出前講座については、今までの取り組みを継続し、かつ、各種広報媒体で周知するなど参加者を増やす工夫を行っていく。

## 指標を構成する事業

### 計画事業

（千円）

| No. | 事業名 | 主な取組項目 | H23末現況 | 計画内容 | H26末目標 | H26末実績 | 進捗 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

### その他事業

（千円）

| No. | 事業名 | 主な取組項目 | H23末現況 | 事業量（H24～26） | H26末目標 | H26末実績 | 進捗 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 市政だより発行事業 | 発行は月2回（1日号・15日号） | 配布率<br>85.08% | 配布率<br>85.08% | 配布率<br>85.08% | 配布率<br>82.49% | 概ね達成 | 362,621 |
| 2 | 千葉市ホームページ運営管理事業 | ホームページの年間セッション数 | 5,634千回 | 1,866千回増 | 7,500千回 | 10,138千回 | 達　成 | 42,547 |
| 3 | 市長との対話会 | 対話会7回開催<br>ツイッター版対話会2回開催<br>（年間参加者数） | 640人 | 年に、対話会を8回程度、ツイッター版対話会を2回程度開催予定 | 1,000人 | 564人 | 未達成 | 107 |
| 4 | 市長の出前講座 | 年8回開催（年間参加者数） | ３２４人 | 3年間で合計24回開催予定 | 330人 | 280人(3年間で23回実施) | 概ね達成 | 176 |
| 5 | 市政出前講座 | 申込に応じて随時出前講座を開催(年１２５回)<br>（年間参加者数） | 4,572人／年 | 13,800人 | 4,600人／年 | 3,032人／年 | 未達成 | 0 |

# 政策評価シート 【個票：生活実感・行動指標】

| | |
|---|---|
| 施策の柱 | ３－５　市民の力をまちづくりの力へ |
| 施策 | ３－５－１　市民参加・協働の推進 |

| | |
|---|---|
| 指標NO | 99 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 指標名 | 住民同士が、互いに協力して地域の課題の解決などに取り組んでいる | 単位 | % |

| | |
|---|---|
| 担当局（区） | 市民局 |

| 区　分 | H23末 現状値 | H27中間評価（H26末値） | H30中間評価（H29末値） | H34最終評価（H33末値） | 達成状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 目標値 | ― | 30.0 | 35.0 | 40.0 | × |
| 現状値 | 25.9 | 24.3 | － | － | |

| | |
|---|---|
| 目標設定の考え方 | 自ら課題を発見し解決に取り組む組織づくりや仕組みづくりへの関心や意欲を高め、指標の向上を図ることとし、目標値に設定した。 |

【達成状況の分析】

各区のまちづくり活動団体の助成等を中心に、市民参加・協働に関する事業などの取り組みを行ってきたところではあるが、平成23年度末の現状値を下回ってしまった。
原因として、地域コミュニティの希薄化、地域活動の担い手不足などにより、町内自治会など既存の地域団体の活動を継続していくことが難しくなってきていることが考えられる。

【課題及び今後の取組みの方向性】

将来に渡り住民同士の助けあい、支えあいによる地域運営を継続できるようにするための仕組みとして、平成２６年度から地域運営委員会の制度をスタートさせた。
地域運営委員会の設立を各地区で進めるとともに、より多くの住民が地域運営委員会の活動に関わる仕組みを検討し、目標の達成を目指す。

## 指標を構成する事業

### 計画事業

（千円）

| No. | 事業名 | 主な取組項目 | H23末現況 | 計画内容 | H26末目標 | H26末実績 | 進捗 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 協働事業提案制度の実施 | 市民からの事業提案 | 募集・選考 | 実施 | 実施 | 実施 | 達　成 | 4,871 |
| 2 | 町内自治会の加入促進 | 加入世帯数 | 295,000世帯 | 2,000世帯増／年 | 301,000世帯 | 298,494世帯 | 未達成 | 0 |
| 3 | 若葉区まちづくり支援システムの活用 | まちづくり支援システム | システムの構築 | システムの充実 | 運用・充実 | 運用・充実　★ | 達　成 | 1,714 |
| 4 | 若葉区まちづくり支援システムの活用 | 普及啓発 | ― | 出張講座 | 出張講座 | 普及啓発　出張講座　★ | 達　成 | |
| 5 | 美浜区人財バンク | 人財バンク | ― | 公募、人材マッチング、地域大学校の開設 | 公募、人材マッチング、地域大学校の開設 | 人材マッチング、美浜区人財バンク活用講座の実施★ | 達　成 | 70 |
| 6 | まちづくり活動団体への助成（中央区） | まちづくり活動団体への助成 | 中央区　15件/年 | 45件/年 | 45件/年 | 9件/年 | 未達成 | 8,877 |
| 7 | まちづくり活動団体への助成（中央区） | 地域リーダー育成 | ― | 中央区　2回/年 | 中央区　2回/年 | 2回/年 | 達　成 | |
| 8 | まちづくり活動団体への助成（花見川区） | まちづくり活動団体への助成 | 花見川区　5件/年 | 3件/年増 | 8件/年 | 13件/年 | 達　成 | |
| 9 | まちづくり活動団体への助成（稲毛区） | まちづくり活動団体への助成 | 10件／年 | 5件／年 | 15件／年 | 区テーマ解決支援5件/年 | 未達成 | |
| 10 | まちづくり活動団体への助成（緑区） | まちづくり活動団体への助成 | 緑区　10件/年 | 5件/年増 | 15件/年 | 13件/年 | 未達成 | |
| 11 | まちづくり活動団体への助成（美浜区） | まちづくり活動団体への助成 | 美浜区　10件/年 | 5件/年増 | 15件/年 | 9件/年 | 未達成 | |
| 12 | まちづくり活動団体への助成（美浜区） | 活動団体交流会 | ― | 美浜区　2回／年 | 美浜区　2回／年 | 2回/年 | 達　成 | |
| 13 | 若葉区地域福祉団体活動支援 | 地域福祉団体活動助成 | ― | 10件/年 | 10件/年 | 10件/年 | 達　成 | 480 |
| 14 | 地域見守り活動への支援 | 助成 | 4団体 | 30団体増 | 34団体 | 34団体 | 達　成 | 0 |
| 15 | 自主防災組織の結成促進 | 自主防災組織の結成数 | 936組織 | 90組織 | 1,026組織 | 989組織 | 未達成 | 31,848 |
| 16 | 避難所運営体制の整備 | 避難所運営委員会の設置 | 市民向け手引きの作成 | 全市的に設置 | 全市的に設置 | 全市的に設置 | 達　成 | 0 |
| 17 | 市民防犯活動の支援 | 防犯パトロール活動団体 | 743団体 | 141団体増 | 884団体 | 718団体 | 未達成 | 0 |

### その他事業

（千円）

| No. | 事業名 | 主な取組項目 | H23末現況 | 事業量（H24～26） | H26末目標 | H26末実績 | 進捗 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 市民参加協働推進事業 | 市民参加・協働の取組項目数 | 274項目 | 41項目増 | 315項目 | 332項目 | 達　成 | 1,130 |
| 2 | 地域運営アドバイザー派遣事業 | ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ派遣 | 0地域 | 14地域 | 14地域 | 延べ3地域 | 未達成 | 168 |
| 3 | (仮称)連携・協働による地域課題解決支援事業(25年度新規事業) | 円卓会議設置 | 2地域 | 6地域 | 8地域 | 5地域 | 未達成 | 14,486 |

# 政策評価シート 【個票：生活実感・行動指標】

| 施策の柱 | ３－５　市民の力をまちづくりの力へ |
|---|---|
| 施策 | ３－５－１　市民参加・協働の推進 |

| 指標NO | 100 |
|---|---|

| 指標名 | この１年間に、地域活動やボランティア活動に参加したことがある | 単位 | % |
|---|---|---|---|

| 担当局（区） | 市民局 |
|---|---|

| 区　分 | H23末 現状値 | H27中間評価（H26末値） | H30中間評価（H29末値） | H34最終評価（H33末値） | 達成状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 目標値 | ― | 27.0 | 31.0 | 35.0 | △ |
| 現状値 | 22.2 | 23.2 | － | － | |

| 目標設定の考え方 | 情報提供の充実や啓発活動を行うことにより、地域活動やボランティア活動への参加を促進することとして、目標値を設定した。 |
|---|---|

【達成状況の分析】

NPO法人の活動の促進、ボランティアデータベース「ちばぼら」の運用、千葉市民活動フェスタにおけるボランティア活動等のPR、シニア世代が地域活動等を行うことへの支援、千葉市ボランティアセンターの支援などを行い、地域活動等を促進してきたが、平成26年度末目標値27.0%を達成できなかった。
想定より、市民の地域活動等への理解が得られなかったことによると考えられる。

【課題及び今後の取組みの方向性】

上記取り組みの継続に加え、ボランティア活動支援の充実を図り、地域活動等の促進を目指していく。

## 指標を構成する事業

### 計画事業

（千円）

| No. | 事業名 | 主な取組項目 | H23末現況 | 計画内容 | H26末目標 | H26末実績 | 進捗 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 市民公益活動支援システムの構築 | NPO法人認定・認証システム | 開発準備 | 開発 | 運用 | 運用 | 達　成 | 1,030 |
| 2 | 市民公益活動支援システムの構築 | ボランティアシステム | データーベース作成、一部開発・運用 | 開発 | 運用 | 運用 | 達　成 | |

### その他事業

（千円）

| No. | 事業名 | 主な取組項目 | H23末現況 | 事業量（H24～26） | H26末目標 | H26末実績 | 進捗 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 市民参加協働推進事業 | 市民参加・協働の取組項目数 | 274項目 | 45項目増 | 315項目 | 332項目 | 達　成 | 1,130 |
| 2 | ことぶき大学校運営 | ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ実践ｺｰｽ、創造活動ｺｰｽ | 運営 | 運営 | 運営 | 運営 | 達　成 | 87,400 |
| 3 | 地域ぐるみ福祉ネットワーク | 社会福祉協議会に対し補助（補助事業数） | ２事業 | ２事業 | ２事業 | ２事業 | 達　成 | 25,527 |
| 4 | 市民公益活動促進事業 | WEBサイト「ちばぼら」 | 運営 | 運営 | 運営 | 運営 | 達　成 | 0 |

# 政策評価シート 【個票：客観指標】

| | |
|---|---|
| 施策の柱 | ３－５　市民の力をまちづくりの力へ |
| 施策 | ３－５－１　市民参加・協働の推進 |

| | |
|---|---|
| 指標NO | 101 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 指標名 | ホームページのセッション数（訪問回数） | 単位 | 千回 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 指標の説明 | 千葉市公式サイトへの訪問回数(サイトに訪れ、巡回し、離脱するまでを1回とし、それを累計したもの) | 担当局（区） | 市民局 |

| 区　分 | H23末<br>現状値 | H27中間評価<br>（H26末値） | H30中間評価<br>（H29末値） | H34最終評価<br>（H33末値） | 達成状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 目標値 | ー | 7,500 | 9,500 | 11,500 | ◎ |
| 現状値 | 5,634 | 10,138 | － | － | |

| | |
|---|---|
| 目標設定の考え方 | ホームページの見直しや日常的な改善などにより、訪問者数の増加を図ることとし、目標値を設定した。 |

【達成状況の分析】

閲覧者に対し見やすいホームページとするため、サイト構成の見直しや日常的な改善などを行い、また市公式Twitterにホームページのリンクを記載し、サイトへの誘導を行った。
平成27年2月に、コンテンツマネジメントシステムを更新するとともに、ホームページのリニューアルを行い、情報の探しやすさの向上として、以下の改善を行った。

(1) 検索サイトからの流入が主であることから、GoogleやYahoo！等の検索サイトにて適切なページが表示されやすくなるよう、各ページの構造化を徹底し、タイトルや見出し等を正しく設定
(2)スマートフォンからのアクセスが増加していることから、レスポンシブウェブデザイン（スマートフォンの画面に合わせたページ表示）を導入

この結果、中間目標を達成することができた。

【課題及び今後の取組みの方向性】

継続して訪問者数の増加を目指していくため、市民からホームページに対する編集/提案を受け付けるなど、今後も日常的な改善を行っていく。

## 指標を構成する事業

### 計画事業

（千円）

| No. | 事業名 | 主な取組項目 | H23末現況 | 計画内容 | H26末目標 | H26末実績 | 進捗 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

### その他事業

（千円）

| No. | 事業名 | 主な取組項目 | H23末現況 | 事業量（H24～26） | H26末目標 | H26末実績 | 進捗 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 千葉市ホームページ運営管理事業 | ホームページの年間セッション数 | 5,634千回 | 1,866千回増 | 7,500千回 | 10,138千回 | 達　成 | 42,547 |

# 政策評価シート【個票：客観指標】

| | |
|---|---|
| 施策の柱 | 3－5　市民の力をまちづくりの力へ |
| 施策 | 3－5－1　市民参加・協働の推進 |

| | |
|---|---|
| 指標NO | 102 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 指標名 | ちば市民活力創造プラザ登録団体数 | 単位 | 団体 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 指標の説明 | ちば市民活力創造プラザに登録した団体数 | 担当局（区） | 市民局 |

| 区　分 | H23末<br>現状値 | H27中間評価<br>（H26末値） | H30中間評価<br>（H29末値） | H34最終評価<br>（H33末値） | 達成状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 目標値 | ― | 663 | 783 | 903 | ◎ |
| 現状値 | 543 | 683 | － | － | |

| | |
|---|---|
| 目標設定の考え方 | 「ちば市民活力創造プラザ」の運営や情報の充実を図るとともに、地域活動やボランティア活動などに取り組む団体の活動を促進することとし、目標値を設定した。 |

【達成状況の分析】

平成26年度末の目標値を達成することができた。 平成26年度から指定管理者制度を導入し、旧ちば市民活力創造プラザ（現「千葉市民活動支援センター」）の情報提供サービスを充実させたこと、計画事業「市民公益活動支援システムの構築」により、認証を受けたNPO法人や任意団体等が積極的にボランティア活動等に取組めるシステムを提供した結果、達成できたと考えられる。

【課題及び今後の取組みの方向性】

千葉市民活動支援センターのサービスである、ボランティアデータベース「ちばぼら」の情報・機能の充実させ、ボランティア活動等の促進を図る。

## 指標を構成する事業

### 計画事業

（千円）

| No. | 事業名 | 主な取組項目 | H23末現況 | 計画内容 | H26末目標 | H26末実績 | 進捗 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 市民公益活動支援システムの構築 | NPO法人認定・認証システム | 開発準備 | 開発 | 運用 | 運用 | 達　成 | 1,030 |
| 2 | 市民公益活動支援システムの構築 | ボランティアシステム | データーベース作成、一部開発・運用 | 開発 | 運用 | 運用 | 達　成 | |

### その他事業

（千円）

| No. | 事業名 | 主な取組項目 | H23末現況 | 事業量（H24～26） | H26末目標 | H26末実績 | 進捗 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 市民参加協働推進事業 | 市民参加・協働の取組項目数 | 274項目 | 45項目増 | 315項目 | 333項目 | 達　成 | 1,130 |
| 2 | 市民公益活動促進事業 | WEBサイト「ちばぼら」 | 運営 | 運営 | 運営 | 運営 | 達　成 | 0 |

# 政策評価シート【個票：客観指標】

| | |
|---|---|
| 施策の柱 | 3－5　市民の力をまちづくりの力へ |
| 施策 | 3－5－1　市民参加・協働の推進 |

| | |
|---|---|
| 指標NO | 103 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 指標名 | 町内自治会加入率 | 単位 | % |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 指標の説明 | 全世帯のうち町内自治会に加入している世帯の割合 | 担当局（区） | 市民局 |

| 区　分 | H23末<br>現状値 | H27中間評価<br>（H26末値） | H30中間評価<br>（H29末値） | H34最終評価<br>（H33末値） | 達成状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 目標値 | ― | 73.5 | 75.5 | 77.5 | × |
| 現状値 | 71.5 | 70.0 | － | － | |

| | |
|---|---|
| 目標設定の考え方 | 各区における加入促進の取組みを踏まえ、目標値を設定した。 |

【達成状況の分析】

加入世帯数は増加しているものの、世帯数の増加の影響で、加入率については減少した。
他にも、家屋の形態としてマンションが増えており、マンションでは管理組合があることから、町内自治会の結成まで至らない場合が多い。

【課題及び今後の取組みの方向性】

引き続き、町内会への加入については目標達成に向け取り組んでいくとともに、自治会加入や自治会の結成等について、市HPや市政だより等で広報を実施しする。また、転入窓口である区役所や市営住宅の募集窓口等で加入促進のためのパンフットを配布する。他にも、20戸以上の住宅（戸建て・共同住宅）の開発計画を関係部署内で情報共有し、開発業者等に対し、入居予定者への町内自治会の結成及び加入促進の協力を依頼する。加えて、平成25年度から町内自治会と同様に取り扱っている「みなし自治会（地域活動を行っており、一定の要件を満たしているマンション組合）」から結成手続き等の問合せがあった際に、職員が出向き、希望があれば随時説明会を実施し、町内自治会への加入促進を図る。

## 指標を構成する事業

### 計画事業

（千円）

| No. | 事業名 | 主な取組項目 | H23末現況 | 計画内容 | H26末目標 | H26末実績 | 進捗 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 町内自治会の加入促進 | 加入世帯数 | 295,000世帯 | 2,000世帯増／年 | 301,000世帯 | 298,494世帯 | 未達成 | 0 |
| 2 | 町内自治会集会所の整備 | 旧真砂第一小学校跡施設における町内自治会集会所整備 | ― | 改修工事 | 完了 | 中止 | 中　止 | 323 |

### その他事業

（千円）

| No. | 事業名 | 主な取組項目 | H23末現況 | 事業量（H24～26） | H26末目標 | H26末実績 | 進捗 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 町内自治会集会所建設等事業補助金 | 助成 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 達　成 | 72,486 |

# 政策評価シート【個票：客観指標】

| | |
|---|---|
| 施策の柱 | 3－5　市民の力をまちづくりの力へ |
| 施策 | 3－5－1　市民参加・協働の推進 |

| | |
|---|---|
| 指標NO | 104 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 指標名 | 地域課題に取り組む連携会議設置地区数 | 単位 | 地区 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 指標の説明 | 地域の様々な団体が連携・協働して地域課題に取組む体制（連携会議）の設置地区数 | 担当局（区） | 市民局 |

| 区　分 | H23末<br>現状値 | H27中間評価<br>（H26末値） | H30中間評価<br>（H29末値） | H34最終評価<br>（H33末値） | 達成状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 目標値 | ― | 8 | 26 | 48 | △ |
| 現状値 | 2 | 4 | － | － | |

| | |
|---|---|
| 目標設定の考え方 | 多様化する地域課題に対応するため、様々な主体が連携しながら取り組む必要があることから、連携会議の設置を促進することとして目標値を設定した。 |

【達成状況の分析】

平成23～24年度にかけて、千葉県連携協働による地域課題解決モデル事業に4地区で取り組み、平成25年度は当該4地区で市の地域課題解決連携支援モデル事業を行った。モデル事業の成果を踏まえ、平成26年度から地域運営委員会の制度をスタートさせた。地域運営委員会の設立には地域の理解が前提となり十分な協議・検討が必要となるため、平成26年度末時点での設立地区数は大きくは伸びず達成には至らなかった。

【課題及び今後の取組みの方向性】

・地域運営委員会の設立を進めるには、地域運営委員会の必要性への理解や自分たちの住む地域を自分たちの手で良くしていこうという機運をいかに高めていくかが課題である。
・地域運営委員会の必要性をわかりやすく伝えるとともに、他地区の活動事例なども紹介しながら、理解を深めていく必要がある。また、地域運営委員会の活動が円滑に進むよう、市は財政的支援（地域運営交付金等の補助制度）、人的支援（地域担当職員制度の創設）、活動拠点確保支援を行っていく。

## 指標を構成する事業

### 計画事業

（千円）

| No. | 事業名 | 主な取組項目 | H23末現況 | 計画内容 | H26末目標 | H26末実績 | 進捗 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 協働事業提案制度の実施 | 市民からの事業提案 | 募集・選考 | 実施 | 実施 | 実施 | 達　成 | 4,871 |

### その他事業

（千円）

| No. | 事業名 | 主な取組項目 | H23末現況 | 事業量（H24～26） | H26末目標 | H26末実績 | 進捗 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 地域運営アドバイザー派遣事業 | ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ派遣 | 0地域 | 14地域 | 14地域 | 延べ3地域 | 未達成 | 168 |

# 政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

| | |
|---|---|
| 施策の柱 | ３－５　市民の力をまちづくりの力へ |
| 施策 | ３－５－２　男女共同参画の推進 |

| | |
|---|---|
| 指標NO | 105 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 指標名 | 男女が共に個性と能力を十分に発揮している | 単位 | % |

| | |
|---|---|
| 担当局（区） | 市民局 |

| 区　分 | H23末<br>現状値 | H27中間評価<br>（H26末値） | H30中間評価<br>（H29末値） | H34最終評価<br>（H33末値） | 達成状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 目標値 | ― | 21.3 | 24.6 | 30.0 | × |
| 現状値 | 18.0 | 15.5 | － | － | |

| | |
|---|---|
| 目標設定の考え方 | 男女共同参画の推進を図るため、普及啓発活動などの取組みを推進することとして、目標値を設定した。 |

【達成状況の分析】

男女共同参画の推進を図るため、普及啓発活動などの取組みを推進することとして、実施計画事業、その他経常事業、マニフェスト事業等様々な取組みを実施してきたところであるが、H23年度末現状値を下回ってしまった。30歳以上では値も低く、2.3～3.6%下がっていた。
しかし各年代別の詳細をさらに分析すると、13～19歳、20～29歳では肯定的な意見の割合が高く、しかも今回のアンケートでも指標は伸びており、29歳までの若い世代に向けた取組みに関しては、着実に結果が出ていることも分かった。
13～19歳：44.5%(5.3%アップ)、20～29歳：26.3%（2.0%アップ）

【課題及び今後の取組みの方向性】

今後の取組みとしては、結果の出ている13～19歳、20～29歳の若い世代については、今まで通り、市男女共同参画センターを中心とした様々な取組みを着実に続けていく。
また、30歳以上の世代の指標が下がったことについては、固定的性別役割分担意識など様々な原因が考えられるため、更なる分析を行い、効果的な対策を検討していく。

## 指標を構成する事業

### 計画事業

（千円）

| No. | 事業名 | 主な取組項目 | H23末現況 | 計画内容 | H26末目標 | H26末実績 | 進捗 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 男女共同参画の推進 | 男女共同参画推進事業者の登録者数 | 41団体 | 34団体増 | 75団体 | 75団体 | 達　成 | 0 |

### その他事業

（千円）

| No. | 事業名 | 主な取組項目 | H23末現況 | 事業量（H24～26） | H26末目標 | H26末実績 | 進捗 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 男女共同参画センター管理運営事業 | 調査研究、情報収集・提供、相談事業、研修学習、交流啓発、貸館業務（利用者数） | 89,313人 | 20,207人増 | 109,520人 | 68,857人 | 未達成 | 445,841 |

# 政策評価シート【個票：客観指標】

| | |
|---|---|
| 施策の柱 | ３－５　市民の力をまちづくりの力へ |
| 施策 | ３－５－２　男女共同参画の推進 |

| | |
|---|---|
| 指標NO | 106 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 指標名 | 附属機関の女性委員の割合 | 単位 | % |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 指標の説明 | 附属機関（審議会など）委員に占める女性の割合 | 担当局（区） | 市民局 |

| 区　分 | H23末<br>現状値 | H27中間評価<br>（H26末値） | H30中間評価<br>（H29末値） | H34最終評価<br>（H33末値） | 達成状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 目標値 | ― | 31.0 | 34.0 | 38.0 | × |
| 現状値 | 27.8 | 27.3 | － | － | |

| | |
|---|---|
| 目標設定の考え方 | 政策決定過程への女性の参画を推進するため、女性委員の割合向上を目指すこととして、目標値を設定した。 |

【達成状況の分析】

政策決定過程への女性の参画を推進するため、附属機関の女性委員の割合向上を目指し、実施計画事業、その他経常事業、マニフェスト事業等様々な取組みを実施してきたところであるが、H26年度末目標値の31.0%に到達しなかった。
取組みとしては、実施計画事業等により、男女共同参画推進へ向けた意識啓発や環境づくりを行ったほか、附属機関の委員選任時における各所管課との女性委員登用に係る事前協議を実施している。また、庁内ネットワークを活用した職員向けの啓発活動や職員を対象とした研修会を実施するなど、本市の女性登用率の現状や取組みに対する理解や意識の向上を図っている。しかし、委員の選任にあたり、特定の専門的な分野における女性委員候補者が少ない現状が続いているため、女性委員の割合を目標値まで増加させることができなかった。

【課題及び今後の取組みの方向性】

社会全体の男女共同参画に関する更なる意識啓発を進めていく必要があるとともに、庁内職員への意識啓発や理解促進についても十分でないことから、これまでの取組みについて引き続き実施していく。具体的には、マニフェストに関する取組事業「附属機関への女性委員の登用促進」の取組みを着実に推進し、附属機関の委員選任時における各所管課との女性委員の登用に係る事前協議を徹底するとともに、職員向け研修会の実施等により、現状理解や意識啓発を図っていく。

## 指標を構成する事業

### 計画事業

（千円）

| No. | 事業名 | 主な取組項目 | H23末現況 | 計画内容 | H26末目標 | H26末実績 | 進捗 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 男女共同参画の推進 | 男女共同参画推進事業者の登録者数 | 41団体 | 34団体増 | 75団体 | 75団体 | 達　成 | 0 |

### その他事業

（千円）

| No. | 事業名 | 主な取組項目 | H23末現況 | 事業量（H24～26） | H26末目標 | H26末実績 | 進捗 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 男女共同参画センター管理運営事業 | 調査研究、情報収集・提供、相談事業、研修学習、交流啓発、貸館業務（利用者数） | 89,313人 | 20,207人増 | 109,520人 | 68,857人 | 未達成 | 445,841 |

# 政策評価シート【個票：客観指標】

| | |
|---|---|
| 施策の柱 | ３－５　市民の力をまちづくりの力へ |
| 施策 | ３－５－２　男女共同参画の推進 |

| | |
|---|---|
| 指標NO | 107 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 指標名 | 男性が１週間で育児にかかわる時間 | 単位 | 時間/週 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 指標の説明 | 市内の保育所及び幼稚園に通う子どもの保護者である男性が、１週間に育児にかかわる平均時間数 | 担当局（区） | こども未来局 |

| 区　分 | H23末<br>現状値 | H27中間評価<br>（H26末値） | H30中間評価<br>（H29末値） | H34最終評価<br>（H33末値） | 達成状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 目標値 | ー | 22 | 23.5 | 25.5 | × |
| 現状値 | 21 | 18 | － | － | |

| | |
|---|---|
| 目標設定の考え方 | ワークライフバランスを推進するため、男性の子育て支援することとして、目標値を設定した。 |

【達成状況の分析】

父親の子育てへの積極的な関わり及び子育てを含めたワークライフバランスを推進するため、イクメンハンドブックの配布や男女共同参画推進事業者登録制度等による啓発のほか、平成26年度から新たに男性の育児休業取得促進奨励金制度を創設するとともに、男性の家事・育児講座・イクメンイベントを開催するなど、男性が主体的に育児に関わるための取組みを行っているが、平成26年度末目標値を達成することができなかった。要因としては、「育児は女性の役割」という意識が根強くあり、男性の育児への主体的・積極的な関わりまで至らないことが考えられる。

【課題及び今後の取組みの方向性】

男性による育児に関する社会的気運が高まりつつあるものの、「育児は女性の役割」という意識が根強くあることや、父親の育児休業取得率も低い状況があるため、男性の育児への主体的・積極的な関わりを促進していく必要がある。

引き続き、父親の子育てへの積極的な関わり及び子育てを含めたワークライフバランスを推進するため、男性の育児休業取得促進奨励金やイクメンを支援する「イクメンハンドブック」の配布を始めとする啓発活動を実施し、「男性が子育てして楽しいまち」を目指す。

## 指標を構成する事業

### 計画事業

（千円）

| No. | 事業名 | 主な取組項目 | H23末現況 | 計画内容 | H26末目標 | H26末実績 | 進捗 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 男女共同参画の推進 | 男女共同参画推進事業者の登録者数 | 41団体 | 34団体増 | 75団体 | 75団体 | 達　成 | 0 |
| 2 | 男性の子育て支援 | 両親学級の土日開催 | ー | 1回/月 | 1回/月 | 年間13回 | 達　成 | 3,700 |

### その他事業

（千円）

| No. | 事業名 | 主な取組項目 | H23末現況 | 事業量（H24～26） | H26末目標 | H26末実績 | 進捗 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 男女共同参画センター管理運営事業 | 調査研究、情報収集・提供、相談事業、研修学習、交流啓発、貸館業務（利用者数） | 89,313人 | 20,207人増 | 109,520人 | 68,857人 | 未達成 | 445,841 |
| 2 | 男女共同参画推進啓発事業 | 市民の意識啓発（イクメンハンドブックの配布など） | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 達　成 | 8,376 |